

## 心理・適応 6 尺度と内田クレペリン精神検査を用いた生徒指導

○西本素江<sup>1</sup>・清重友輝<sup>2</sup>・中塚善次郎<sup>2</sup>( <sup>1</sup>徳島市城西中学校・<sup>2</sup>ひびきのさと人間精神学研究所)

## 1 目 的

これまでに西本らは(西本ら, 2016)・(清重ら, 2017) 生徒理解を深める目的で心理・適応 6 尺度(以下「6 尺度」と略称)を構成し, 妥当性の検討を行ってきた。

本発表では, 内田クレペリン精神検査(以下「クレペリン」と略称)と構成した 6 尺度の検査結果, 並びに, 成績, 部活動, 交友関係など生徒指導上有効と思われる内容をまとめるシートを作成し, 教育実践に役立てることを目的とする。

## 2 方 法

図 1 に示すように出席状況, 成績, 交友関係, リーダー性, 問題行動, 家庭の状況および心理特性等をまとめるためのシートを作成した。

2018 年度に中学 2 年生 223 名(男子 111 名, 女子 112 名)を調査対象とし, 6 尺度とクレペリンを実施し, これらの検査結果をクレペリンは 1 分毎の計算数の変動を, 6 尺度はプロフィールを画像としてシートに貼り付ける。これら 2 つの心理検査から得られる生徒指導上配慮すべき内容をまとめシートに記入する。

配慮の必要性の大きい者について学年会等で共通理解を図る。

## 3 結果とその考察

構成された 6 尺度とは, 1) 内的自己確立尺度, 2) ストレス尺度, 3) 家庭適応尺度, 4) 他者・社会定位尺度, 5) クラス・仲間適応尺度, 6) 学校・教師適応尺度である。

この中の 1) 内的自己確立尺度と 4) 他者・社会定位尺度は, 中塚(1994) の人間精神の心理学モデル(このモデルについては, 中塚の文献(1994)を参照のこと)における「自己」と「他己」を表しており, 社会の中で「自分」が「他者」とどう関わりながら生きていこうとしているのかという, 人としての基本的なあり方を示している。また, 2) ストレス尺度はストレスを表し, 3) 家庭適応尺度, 5) クラス・仲間適応尺度, 6) 学校・教師適応尺度はそれぞれの場面における適応を表している。

次に, クレペリンは, 先に述べた中塚(1994)

の心理学モデルによれば, 無意識以外の能力も含めた精神機能全般を測定していると考えられる。次のようにシート(図 1)の, 一例を示した。

図 1 生徒理解シート

これらの結果及び, 担任や養護教諭の把握している学校での生徒の様子や, 家庭の状況等を考え合わせることで, 生徒理解が深まり, 生徒指導の参考になると考えられる。

今後の課題としては, 現在, クラス編成は主に成績を資料として行っているが, これに加えて, 6 尺度の 1) 内的自己確立尺度と 4) 他者・社会定位尺度の結果を利用することで, クラスの集団としての雰囲気や数値として表せないかについて検討する。

## 4 文 献

清重友輝, 西本素江, 福森護: 「生徒理解を深める心理・適応 6 尺度の構成」, 中国学園紀要(2017) 16, 97-106

中塚善次郎(1994)「人間精神学序説-自他統合の哲学的心理学の構築とその応用-」風間書房

西本素江・清重友輝・中塚善次郎: 「生徒理解を深める心理・適応 6 尺度の構成と妥当性の検討」, 中国四国心理学会論文集(2016) 49, 6